



これからの季節は注意！ 腸管出血性大腸菌感染症

令和4年6月8日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第22週分・5月30日～6月5日)

《インフォメーション》

●腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症は、ベロ毒素を産生、またはVT(Vero Toxin)遺伝子を保有するEHECの感染により起こります。近年、国内では無症状病原体保有者を含むEHEC感染症が年間3,000～3,900件報告されています。6月5日現在、今年の県内のEHEC感染症の累積報告数は8件で、例年と同程度です。例年EHEC感染症は夏季に報告数が増加する傾向があります。

EHECは牛などの反芻動物に保菌されていることが多く、これらの動物の糞便を介して肉類やその他の食品、井戸水などを汚染します。菌が付いた食品を食べると、3～5日後に腹痛、水様性の下痢、血便などの症状が現れます。嘔吐や38℃台の発熱を伴うこともあります。一部の患者は、合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症を併発して重症化し、死亡する場合があります。特に、免疫力の弱い小児や妊婦、高齢者は重症化しやすいため、注意が必要です。

EHEC感染症は飲食店や保育施設のほか、家庭内においても発生しています。これからの時期は気温・湿度が上昇することで細菌が増殖しやすくなります。下記のこと気を付けて感染予防に努めましょう。

- ① 調理の際、食事の際、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温(10℃以下)で保存する

《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 636件(暫定値)

二類感染症 結核 2件(①60歳代、女性 ②70歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 1件(50歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件

(①②共に第21週診断分：男性 ①50歳代 ②70歳代)

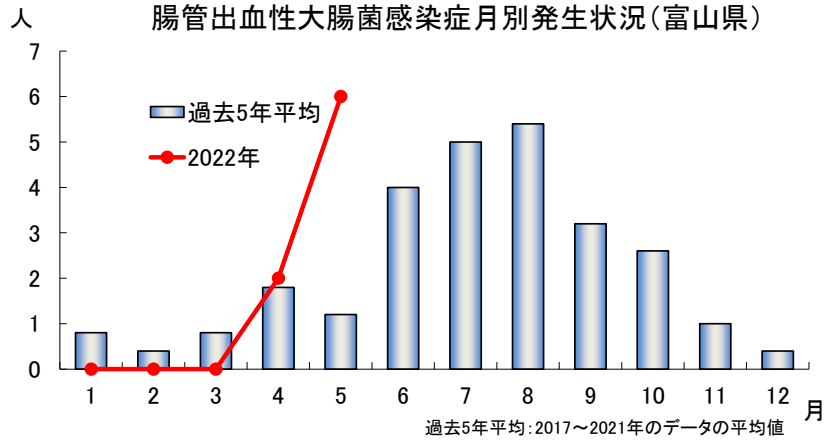
播種性クリプトコックス症 1件(第20週診断分：70歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	5.93(↓)	9.24
2位	手足口病	1.34(↑)	0.41
3位	咽頭結膜熱	0.76(↑)	0.34
4位	突発性発しん	0.34(↑)	0.31
5位	水痘	0.17(↓)	0.21
6位	RSウイルス感染症	0.14(↓)	0.59

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

お問い合わせURL: https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第22週 令和4年5月30日～令和4年6月5日）

分類	疾患	今週報告分（第22週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市 ^{※1}	その他 ^{※2}	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市 ^{※1}	その他 ^{※2}	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	76	50	183	77	249 ^{※1}	1	636	3,099	2,642	7,731	3,000	16,332 ^{※1}	165	32,969
二類感染症	結核				1	1		2	1	2	18	7	17		45
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	4		3		8
四類感染症	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症			1				1	3		6	2	8		19
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										2	1	3		6
	急性脳炎										2				2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								2		5		5		12
	後天性免疫不全症候群												1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		2		3
	侵襲性肺炎球菌感染症										2		3		5
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								2		5	2	15		24
	播種性クリプトコックス症												3		3
バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症			4				4	29	18	254	56	283		640
				0.50				0.14							
	咽頭結膜熱	4	7	6	1	4		22	34	24	125	8	41		232
		1.00	2.33	0.75	0.25	0.40		0.76							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1		2		3	24	10	90	21	144		289
				0.13		0.20		0.10							
	感染性胃腸炎	17	21	66	28	40		172	392	504	1,219	513	1,458		4,086
		4.25	7.00	8.25	7.00	4.00		5.93							
	水痘		1	1		3		5		7	27	1	23		58
			0.33	0.13		0.30		0.17							
	手足口病		2	35		2		39	1	14	131	3	50		199
			0.67	4.38		0.20		1.34							
	伝染性紅斑								1		4	1	1		7
	突発性発しん	2		3	2	3		10	16	9	61	20	53		159
	0.50		0.38	0.50	0.30		0.34								
ヘルパンギーナ	2						2	43	7	23	2	7		82	
	0.50						0.07								
流行性耳下腺炎				1	1		2	1		5	2	1		9	
				0.25	0.10		0.07								
流行性角結膜炎								7	2	4				13	
細菌性髄膜炎											1	1		2	
マイコプラズマ肺炎											1			1	
インフルエンザによる入院患者（※3）		1					1		1		3	1		5	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。

※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。